

市町村名		宜野湾市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】								
事業名	宜野湾バイサイド情報センター整備事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(3)-(ア) 情報通信関連産業の立地促進		
担当部課名	市民経済部	産業政策課	事業実施 年度	平成 30	令和 1	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所 Ⅲ-1-2		
事業内容	本市の創業事業計画に情報通信産業事業者のワンストップ相談窓口として位置づけられている宜野湾バイサイド情報センターにて、引続き創業支援や企業立地促進を図ることにより、情報通信産業を発展させるために施設の基盤を整備する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H30年度	R1年度			合計		
	A. 予算現額	5,281	82,359			87,640		
	B. 執行済額	5,281	82,359			87,640		
	うち 交付金充当額	4,224	65,887			70,111		
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%			100.0%		
執行状況の説明	予算は計画通りに全て執行した。							
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況					
				H30年度	R1年度	○年度	○年度	○年度
	空調機工事の実施設計	目標	空調機工事 実施設計					
		実績	完了					
	空調機工事	目標	空調機工事					
		実績	完了					
	目標							
	実績							
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況					
				H30年度	R1年度	○年度	○年度	○年度
	空調機工事の実施設計	目標	空調機工事 実施設計					
		実績	完了					
	空調機工事の完了	目標	空調機 工事					
		実績	完了					
	目標							
	実績							

事業完了後の取り組み						
事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
			R2年度	R3年度		R4年度 目標/発現年度
	目標					
	実績					
【R4年度成果目標】 宜野湾ベイサイド情報センターを企業の創業支援等の場として引き続き活用することが目的であるため、現在の入居企業数10社(入居率100%)を維持すること。	目標	入居企業数 10社を維持	入居企業数 10社を維持			入居企業数 10社を維持
	実績	10社(入居率 100%)	10社(入居率 100%)			-
状況説明	【令和2年度】 ・当施設は、立地場所、浦添北道路の開通により空港へのアクセスも良く、設備も改修したため、好評で問い合わせが多くなっており、入居期限での退所はあるもの新しい企業をすぐに選定できている。また、新しい設備を導入する事で当施設の企業の使用する電気料金も大幅に減っており、宜野湾市の情報通信産業の振興にも大いに役立っている。 令和2年度は空きはなく、入居率100%となっている。					
	【令和3年度】 ・当施設は、立地場所、浦添北道路の開通により空港へのアクセスも良く、設備も改修したため、好評で問い合わせが多くなっており、入居期限での退所はあるもの新しい企業をすぐに選定できている。また、新しい設備を導入する事で当施設の企業の使用する電気料金も大幅に減っており、宜野湾市の情報通信産業の振興にも大いに役立っている。 令和3年度は入居率100%だが、令和4年度の4月6月で退居する企業が決まっており、入居率80%となる見込み。					
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)			
【R2年度】 ・1F PCラウンジが年間27,482人の利用者あり。 ・2FGwaveSpace(貸会議室)は新型コロナウイルスの影響で休館やキャンセル等により利用者は約1/3となっており、年間6,235人の利用者となった。			【R2年度】 ・令和2年度より宜野湾市指定管理者制度運用指針により管理者と所管課の行う、モニタリングシートを作成している。 ・当施設から移転する企業の移転先の確保に向けた取り組みを強化。			
【R3年度】 緊急事態宣言(R3.5.23~R3.9.30)、まん延防止等重点措置(R4.1.9~R4.2.20)により、企業エリア以外は閉鎖していた為、利用者数が減少した。 ・1F PCラウンジ 年間14,520人(対前年度比 47%減) ・2FGwaveSpace(貸会議室) 年間4,971人(対前年度比 20%減)			【R3年度】 ・当施設から移転する企業の移転先の確保に向けた取り組みを強化。			
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)						
【R3年度】 ・前年度、作成のモニタリングシートを活用しながら当施設の利用者数等に目標値を設定し、委員会設置により当施設の管理運営について、効率的な運営やサービス水準やサービス水準の維持・向上等の評価を行っていくように調整。 ・当施設では市内、県内及び県外からの新規創業者への立地支援、宜野湾ベイサイド情報センターで行われている創業者支援(インキュベーションシェアオフィス)の継続、当施設の入居率100%を維持していきながら、次の施設の整備を推進していく。						
【R4年度】 ・過年度作成のモニタリングシートを活用しながら当施設の利用者数等に目標値を設定し、委員会設置により当施設の管理運営について、効率的な運営やサービス水準やサービス水準の維持・向上等の評価を行っていくように調整。 ・当施設では市内、県内及び県外からの新規創業者への立地支援、宜野湾ベイサイド情報センターで行われている創業者支援(インキュベーションシェアオフィス)の継続、当施設の入居率100%を維持していきながら、次の施設の整備を推進していく。						

市町村名	宜野湾市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	市民会館機能強化事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ウ 伝統文化の保全・継承及び新たな文化の創造		
担当部課名	教育部	生涯学習課	事業実施 年度	平成 30	～ 令和 3	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(2)
事業内容	・文化活動の拠点として、市民の舞台発表や芸術鑑賞の場として活用されているが、建設から38年経過し、施設の老朽化が進んでいる。普天間飛行場移設及び跡地利用に至るまでに長期間を要することが想定されるため、機能強化とバリアフリー化を図りながら、安全、快適で利用しやすい環境を整え、市民が質の高い文化芸術に触れる機会や文化活動を行う場の確保を図るため、宜野湾市民会館の整備を実施する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	54,842	136,125	224,996	364,442	780,405	
	B. 執行済額	54,842	136,125	224,996	364,442	780,405	
	うち 交付金充当額	43,873	108,900	179,996	263,007	595,776	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
執行状況の説明	・すべての年度において執行率は100%となっており、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			○年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	H30年度 大ホール・集会場天井落下防止対策工事(設計)、舞台照明設備機能強化(LED化)	目標	-	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・工事完了
	R1年度 発電設備等改修(設計工事)、トイレ改修工事(設計工事)、大ホール客席改修(設計)	実績	-	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・工事完了
	R2年度 特定天井改修(工事)、舞台機構改修(設計)、駐車場整備(設計)	目標					
		実績					
		目標					
	実績						
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			○年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	H30年度 大ホール・集会場天井落下防止対策工事(設計)、舞台照明設備機能強化(LED化)	目標	-	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・工事完了
	R1年度 発電設備等改修(設計工事)、トイレ改修工事(設計工事)、大ホール客席改修(設計)	実績	-	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・実施設計 ・工事完了	・工事完了
	R2年度 特定天井改修(工事)、舞台機構改修(設計)、駐車場整備(設計)	目標	-	-	58,287人	26,377人	10,000人
	年間利用者数	実績	-	-	41,825人	318人	4,108人
		目標					
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度		
	年間利用者数	目標	58,287人	26,377人	10,000人		
		実績	41,825人	318人	4,108人		
		目標					
		実績					
状況説明	<p>【令和元年度】 ・目標利用者数には若干及ばなかった。</p> <p>【令和2年度】 ・新型コロナウイルスの影響により、大幅な利用者減となった。</p> <p>【令和3年度】 ・前年度からの新型コロナウイルスの影響により、引き続き大幅な利用者減となった。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【令和元年度】 ・非常用発電機等の改修による安全性の機能向上及びトイレのバリアフリー化を図った。</p> <p>【令和2年度】 ・特定天井の改修工事による安全性の機能向上及び外部スロープの設置によるバリアフリー化を図った。</p> <p>【令和3年度】 ・舞台機構の改修及び安全性等の機能向上、車いす利用者専用駐車場を整備することによるバリアフリー化を図った。</p>			<p>【令和元年度】 ・同時期に行う工事がお互いの工事予定が把握できるよう定期的に合同で工程会議を行う。</p> <p>【令和2年度】 ・現場の施工性を考慮し、同一現場内の工事工期が重複しないよう適切に設定する。</p> <p>【令和3年度】 ・現在のコロナ禍及び世界情勢の影響による使用資材の価格高騰や、納期の確認を適宜行うことで事業がスムーズに進捗できるように配慮する。</p>				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【令和4年度】 ・経済の動向を注視しながら、空調設備等の改修設計を行う。</p> <p>【令和5年度】 ・空調設備等改修工事(第1期)予定。</p> <p>【令和6年度】 ・空調設備等改修工事(第2期)予定。</p>							

市町村名		宜野湾市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(共同事業)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア 駐留軍用地跡地の有効利用 の推進		
担当部署	基地政策部	まち未来課	事業実施 年度	平成 24	令和 3	年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を継続的にを行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	132,867	20,123	14,623	12,972	180,585	
	B. 執行済額	129,936	19,761	13,711	12,958	176,366	
	うち 交付金充当額	103,947	15,808	10,969	10,366	141,090	
	執行率(%) (B/A)	97.8%	98.2%	93.8%	99.9%	97.7%	
執行状況の説明	・委託契約の残額及び旅費、需用費、使用料等の執行残を予算減額しているが、計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信	目標	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信を行う。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信を行う。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信を行う。		
		実績	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信を行った。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信を行った。	今後の計画づくりの推進、県民・地権者との合意形成の促進、県内外に向けた「跡地利用情報」の発信を行った。		
	跡地利用計画(素案)策定に向けた検討	目標				跡地利用計画(素案)策定に向けた検討	
		実績				「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」(事務局案)を作成した。	
「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」の作成に向けた検討	目標					「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」の作成に向けた検討	
	実績					「全体計画の中間取りまとめ(第2回)」(委員会案)を作成した。	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	跡地利用計画(素案)に反映させる配置方針図の更新の検討	目標	配置方針図の更新検討	配置方針図の更新	配置方針図の更新案の作成		
		実績	普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成	普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成	普天間飛行場跡地利用計画策定調査報告書作成		
	跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	目標				80%以上	80%以上
		実績				80%以上	80%以上
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R2年度	R3年度			R3年度 目標/発現年度
	跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上		目標	80%以上	80%以上		80%以上
			実績	80%以上	80%以上		
		目標					
		実績					
状況説明	<p>【R3年度】 ・R3年度に作成した「全体計画の中間取りまとめ(第2回)(委員会案)」を基に新たな振興計画との整合性を図り、中間取りまとめ(第2回)を作成する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【R4年度】 ・普天間飛行場跡地利用に関する各種検討や情報発信等の取組みを実施し、「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」を策定する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>			<p>【R4年度】 ・基地内の立ち入りが認められず、調査が十分に実施できないことにより、今後の跡地利用計画の策定に影響が生じることから、基地内の立ち入り調査等を早期に実現するため、関係省庁や米軍と調整、協議をすすめていく。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【R4年度】 ・普天間飛行場跡地利用に関する各種検討や情報発信等の取組みを実施し、「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」を策定する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>							

市町村名	宜野湾市						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	被覆資材等導入推進補助事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア 亜熱帯性気候等を生かした 農林水産業の振興	
担当部課名	市民経済部	産業政策課	事業実施 年度	平成 27 ~ 令和 3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(6)	
事業内容	本市農業振興を図る為、防風対策施設の設置及び被覆資材等導入にかかる経費に対する支援を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	6,720	1,680	1,680	1,680	11,760	
	B. 執行済額	6,331	1,396	1,635	1,463	10,825	
	うち 交付金充当額	5,063	1,116	1,307	1,170	8,656	
	執行率(%) (B/A)	94.2%	83.1%	97.3%	87.1%	92.0%	
執行状況の説明	・事業者の計画変更などにより、執行額が伸びなかった年度もあったが、概ね計画どおりに執行出来た。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	被覆資材等導入にかかる経費に対して支援し、導入面積率を上げる事で、安定的な農業生産活動を推進する。	目標	19件	19件	19件	19件	19件
		実績	18件	13件	19件	15件	15件
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
	被覆資材等導入面積の増加	目標	3,650㎡	26,500㎡	47,000㎡	40,000㎡	40,000㎡
		実績	44,312㎡	49,255㎡	60,066㎡	33,858㎡	36,022㎡
	被覆資材を導入した事による生産上昇率	目標			5%	5%	5%
		実績			9%	9%	-9%
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度				R3年度 目標/発現年度
被覆資材を導入した事による生産上昇率	目標	5%				5%
	実績	-8%				
	目標					
	実績					

事業完了後の成果目標	状況説明	【R3年度】 ・被覆資材導入後の収入、ニーズ等について、これまでの補助申請者に調査を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
------------	------	--

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
--	---------------------------------------

【R3年度】 ・被覆資材導入後の収入、ニーズ等について、これまでの補助申請者に調査を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・	【R3年度】 ・R4年度に実施した調査を踏まえ、今後の農家の収入安定・向上につながる施策の検討を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・
--	--

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R3年度】 ・被覆資材導入後の収入、ニーズ等について、これまでの補助申請者に調査を行い、農家の収入安定・向上につながる施策の検討・実施を行う。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・

市町村名 宜野湾市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	文化財説明板・標識設置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	教育部	文化課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 2	年度	観光客の受け入れ体制の整備 III-1-(1)
事業内容	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	8,268	1,772	2,106	9,327	10,040	
	B. 執行済額	6,391	1,674	1,347	9,062	8,065	
	うち 交付金充当額	5,110	1,339	1,076	7,249	6,449	
	執行率(%) (B/A)	77.3%	94.5%	64.0%	97.2%	80.3%	
執行状況の説明	H24年度から市内の自治会事務所等へ地域文化財案内板と指定文化財へ説明板を設置し、各地域の歴史文化遺産マップを作成し、関係自治会や博物館などへ配布 R1 地域文化財案内板設置と歴史遺産マップ作成 文化財説明板設置(繰越)						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。 地域案内板を自治会事務所等に設置する。	目標	-	2件	2件	3件	工事完了
		実績	-	2件	2件	3件	工事完了
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	文化財標識説明板設置件数2件 地域文化財案内板1件	目標	-	2件	2件	3件	工事完了
		実績	-	2件	2件	3件	工事完了
		目標					
		実績					
	目標						
	実績						

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		R3年度	R4年度			R3年度 目標/発現年度
	地域文化財を活用した学習会等辺参加人数	目標	220人				
	実績	143人					143人
	目標						
	実績						
状況説明	【R3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 143人参加/220人以上 コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少し、そのまま参加者減少へつなげた。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
【R3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数が143人と目標を下回っている。コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少したため、そのまま参加者減となり、目標に達せず。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・			【R3年度】 ・コロナ禍でも、文化財を見学できるよう検討し、多くの方が見学できるよう啓発手段なども検討する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・				
今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)							
【R3年度】 ・市報等に掲載し整備完了を啓発する。学習会の参加者数を減らし、回数を多くするなどする。 歴史文化遺産マップの配布先の在庫(博物館、観光所管課等)を切らさない。 HPLレイアウト(マップ掲載箇所など)を検討する。 【 年度】 ・ 【 年度】 ・							

市町村名		宜野湾市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	文化財保存整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア		
担当部課名	教育部	文化課	事業実施 年度	平成 24	~ 令和 2	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	合計	
	A. 予算現額	44,974	11,632	18,274	54,635	56,606	
	B. 執行済額	43,853	10,098	14,614	54,203	53,951	
	うち 交付金充当額	35,064	8,078	11,691	43,362	43,142	
	執行率(%) (B/A)	97.5%	86.8%	80.0%	99.2%	95.3%	
執行状況の説明	H24年度から宜野湾市内の指定文化財の整備を実施 H25我如古ヒージャーガー H30小禄墓石彫香炉の修復等 R1 大謝名メヌカー敷地測量 大謝名メヌカー保存整備工事(繰越) R2 クシヌカー保存整備工事等(繰越)						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	大謝名メヌカーの保存整備工事を行う。		目標	1件	土質調査・地山擁壁安定性調査・実施設計	境界測量	工事完了
			実績	1件	土質調査・地山擁壁安定性調査・実施設計	境界測量	工事完了
	野嵩クシヌカーの保存整備工事を行う。		目標		野嵩クシヌカー土質調査・詳細測量、実施設計		
			実績		野嵩クシヌカー土質調査・詳細測量、実施設計		
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
	大謝名メヌカー保存整備工事		目標	1件	土質調査・地山擁壁安定性調査・実施設計	境界測量	工事完了
			実績	1件	土質調査・地山擁壁安定性調査・実施設計	境界測量	工事完了
	野嵩クシヌカー保存整備工事		目標		野嵩クシヌカー土質調査・詳細測量、実施設計		
			実績		野嵩クシヌカー土質調査・詳細測量、実施設計		
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		R3年度	R4年度			R3年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	地域文化財を活用した学習会等参加人数	目標	220人			220人
		実績	143人			143人
		目標				
		実績				

状況説明	【3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 143人参加/220人以上 コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少し、そのまま参加者減少へつながった。
	【 年度】 ・
	【 年度】 ・

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【R3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数が143人と目標を下回っている。コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少したため、そのまま参加者減となり、目標に達せず。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>	<p>【R3年度】 ・コロナ禍でも、文化財を見学できるよう啓発手段を検討する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>
--	---

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【R3年度】 ・市報等に掲載し整備を啓発、少しでも学習会(参加者数を減らし、回数を多くするなど)を開催する。</p> <p>【 年度】 ・</p> <p>【 年度】 ・</p>

市町村名							
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	道路景観整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 世界水準の観光リゾート地の形成		
担当部課名	建設部	道路整備課	事業実施 年度	平成 24	~ 平成 30	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	
事業内容	<p>はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立球場や野外劇場、ビーチがある海浜公園やコンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を良好な景観形成を目的として道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。</p> <p>・真志喜 9号歩道改良工事 ・真志喜 9号街路樹移植工事 ・真志喜 9号歩道外灯設置工事 ・真志喜26号歩道改良工事 ・真志喜26号街路樹移植工事 ・真志喜26号歩道外灯設置工事</p>						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		~27年度	28年度	29年度	30年度	合計	
	A. 予算現額	138,450	36,231	76,560	141,001	392,242	
	B. 執行済額	137,423	36,028	76,560	141,001	391,012	
	うち 交付金充当額	109,933	28,823	57,755	112,800	309,311	
	執行率(%) (B/A)	99.3%	99.4%	100.0%	100.0%	99.7%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H24真志喜9号道路舗装工事 ・H26真志喜9号歩道改良工事 ・H27真志喜9号歩道改良工事・真志喜9号街路樹移植工事・真志喜9号歩道外灯設置工事 ・H28真志喜9号歩道改良工事・真志喜9号歩道外灯設置工事 ・H29真志喜26号歩道改良工事・真志喜26号街路樹移植工事・真志喜26号歩道外灯設置工事 ・H30真志喜26号歩道改良工事・真志喜26号街路樹移植工事・真志喜26号歩道外灯設置工事 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	真志喜 9号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
		実績	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
	真志喜26号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
		実績			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)		進捗状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	真志喜 9号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
		実績	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
	真志喜26号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
		実績			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
			R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	○年度 目標/発現年度
		魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民の方へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	事業評価	事業評価	事業評価	事業評価
	実績	延期	延期	延期			
	目標						
	実績						

状況説明	<p>【令和元年度～3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真志喜26号の全延長の工事が完了に伴い、観光客や市民からのアンケートにより、あり方を調査する。『コロナ禍の影響で実施できず、延期』
	<p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・真志喜26号の全延長の工事が完了に伴い、観光客や市民からのアンケートにより、あり方を調査する。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【令和元年度～3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了箇所において、事業評価について観光満足度調査を行っていく。『コロナ禍の影響で実施できず、延期』 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・完了箇所において、事業評価について観光満足度調査を行っていく。 	<p>特になし</p> <p>特になし</p>
---	-------------------------

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客や市民へのアンケートにより、あり方を検討する。『コロナ禍の影響で実施できず、延期』 <p>【令和4年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客や市民へのアンケートにより、あり方を検討する。

市町村名 宜野湾市

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	横浜DeNAベイスターズグリーンコミュニティー事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ 観光客の受入態勢の整備
担当部課名	市民経済部	観光農水課	事業実施 年度	平成24 ~ 令和3 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	プロ野球キャンプは、温かい沖縄を全国にアピールする絶好の機会であり、横浜DeNAベイスターズのキャンプ地である宜野湾海浜公園を南国沖縄の花で埋め尽くし、美ら島沖縄を全国へ発信し、観光・経済に大きな効果が期待できる。				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()				

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】	～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計
	A. 予算現額	9,113	1,715	1,457	1,715
B. 執行済額	8,951	1,715	1,457	1,715	13,838
うち 交付金充当額	7,159	1,372	1,165	1,372	11,068
執行率(%) (B/A)	98.2%	100.0%	100.0%	100.0%	98.8%
執行状況の説明	すべての年度において執行率は100%となっており、概ね計画的に執行できた。				

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
植樹する花の苗	目標	10,000鉢	10,000鉢	10,000鉢	10,000鉢	10,000鉢
	実績	15,000鉢	15,000鉢	15,000鉢	15,000鉢	15,000鉢
	目標					
	実績					
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		○年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
プロ野球キャンプ来場者の満足度 目標値: 満足度80%	目標	-	-	-	80%	80%
	実績	-	-	-	無観客のため 実施できず	72%
	目標	-	-	-	-	-
	実績	-	-	-	-	-
	目標					
	実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況					
		○年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度 目標/発現年度	
事業完了後の成果目標	プロ野球キャンプ来場者の満足度 目標値: 満足度80%	目標	-	-	-	80%	80%
		実績	-	-	-	無観客のため 実施できず	72%
		目標					
		実績					
状況説明	<p>【令和2年度】 ・新型コロナの影響により、無観客でのキャンプ実施となったためアンケートの実施ができなかった。</p> <p>【令和3年度】 ・県が発刊している「プロ野球キャンプガイドブック2022」500部にアンケート用紙を織り込み実施。25件の回答があり満足度は18/25の72%となった。</p>						

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【令和2年度】 ・無観客でのキャンプ実施のため、アンケートが実施できず。</p> <p>【令和3年度】 ・観客を制限してのキャンプ実施とはなったが、来場者へのアンケートによる満足度は72%となった。</p>	<p>【令和2年度】 ・無観客での実施の場合のアンケートの徴収について検討する(メディ、球団スタッフなど)。</p> <p>【令和3年度】 ・アンケートの徴収方法についてガイドブックへの折り込みはあまり効率的ではなかったため、他の手法を検討する(SNS等を活用しアンケートが実施できる手法など)。</p>

今後の取り組み方針 (関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【令和4年度】 ・アンケートの効率的な徴収方法について検討する。</p> <p>【令和5年度】 ・アンケートの意見をどのように反映させ、キャンプ地としての環境整備を行っていくか検討する。</p> <p>【令和6年度】 ・アンケートの意見をどのように反映させ、キャンプ地としての環境整備を行っていくか検討する。</p>

市町村名		宜野湾市					
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	普天間飛行場跡地利用計画策定事業(地権者意向調査)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(13)-ア 早期の事業着手に向けた取組		
担当部課名	基地政策部	まち未来課	事業実施 年度	平成 24	令和 3	年度 III-8	
事業内容	宜野湾市と沖縄県が平成19年5月に策定した「行動計画」に基づき、跡地利用の骨格に係る分野別計画の検討と、市民・県民・地権者等に対して情報発信及び意見の聴取を継続的に行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	合計	
	A. 予算現額	139,846	18,974	16,894	16,999	192,713	
	B. 執行済額	139,432	18,748	14,490	16,985	189,655	
	うち 交付金充当額	111,541	14,998	11,592	13,588	151,719	
	執行率(%) (B/A)	99.7%	98.8%	85.8%	99.9%	98.4%	
執行状況の説明	・委託契約の残額及び旅費、需用費、使用料等の執行残を予算減額しているが、計画的な予算執行に努め、業務を遂行した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	若手の会、NBMの定例会等の活動支援を行う。 地権者向け意見交換会やホームページ等を通じて、関係地権者や市民へ情報を発信する。	目標	市民の活動支援及び意向醸成。地権者の活動支援・意向醸成。	市民の活動支援及び意向醸成。地権者の活動支援・意向醸成。	市民の活動支援及び意向醸成。地権者の活動支援・意向醸成。	市民の活動支援及び意向醸成。地権者の活動支援・意向醸成。	市民の活動支援及び意向醸成。地権者の活動支援・意向醸成。
		実績	市民の活動支援及び意向醸成を実施した。また地権者の活動支援・意向醸成を行った。	市民の活動支援及び意向醸成を実施した。また地権者の活動支援・意向醸成を行った。	市民の活動支援及び意向醸成を実施した。また地権者の活動支援・意向醸成を行った。	市民の活動支援及び意向醸成を実施した。また地権者の活動支援・意向醸成を行った。	市民の活動支援及び意向醸成を実施した。また地権者の活動支援・意向醸成を行った。
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		～H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	普天間飛行場の跡地利用について、若手の会、NBミーティング各会員の理解を深めると共に、跡地利用に関する情報や各会での検討内容を関係地権者や市民へ発信する。また、取組みのとりまとめ報告書を作成する。	目標	関係地権者の意向把握の継続	関係地権者の意向把握の継続	関係地権者の意向把握の継続		
		実績	関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成	関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成	関係地権者等の意向醸成・活動推進調査報告書作成		
	市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:100人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:100人	目標				市民向け意向醸成イベント①来場者数:100人 地権者向け意見交換会②参加者:100人	
		実績				コロナ禍により市民向け中止⇒地権者向けアンケート実施。回答489件(13.3%)	

市民向けの意向醸成イベント ①来場者数:230人 地権者向けの意見交換会 ②参加者:80人	目 標					市民向け意向醸成イベント①来場者数:230人 地権者向け意見交換会②参加者:80人
	実 績					コロナ禍により市民向けイベント・地権者意見交換会の開催中止⇒情報誌でイベント内容等の情報発信を実施

事業完了後の取り組み

成果目標(指標)	達成/進捗状況				
		R2年度	R3年度		
□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果					
跡地利用計画(素案)策定後、当該跡地利用計画に対する市民、県民や地権者等の「肯定的な評価」80%以上	目 標	80%以上	80%以上		
	実 績	80%以上	80%以上		
	目 標				
	実 績				
事業完了後の成果目標 状況説明	【R4年度】 ・R4年度に策定予定の全体計画の中間取りまとめ(第2回)をもとに、情報を発信し、跡地利用計画(素案)策定に向けて、市民及び地権者の意向把握を継続して行う。				
	【 年度】 . . . 【 年度】 . . .				

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【R4年度】 ・R4年度に策定予定の全体計画の中間取りまとめ(第2回)をもとに、情報を発信し、跡地利用計画(素案)策定に向けて、市民及び地権者の意向把握を継続して行う。	【R4年度】 ・返還時期の不確実さ等から、参加者減少や固定化が進んでおり、会が自立していくための支援や組織強化、多くの地権者等が興味を持つテーマを設定・検証し、地権者意見交換会や情報誌で周知を図り、地権者の跡地利用への興味関心を高める。
【 年度】 . . .	【 年度】 . . .
【 年度】 . . .	【 年度】 . . .

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【R4年度】 ・普天間飛行場の跡地利用計画の意向醸成・合意形成の推進を図るため、若手の会及びNBミーティングの活動を支援する。
【 年度】 . . .
【 年度】 . . .